



款	項	目	担当部局・課名		地域振興部 地域振興課	
2	1	8				
事業名			集落支援員事業			主要事業NO,
事業区分		継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
節名称				予算現額	決算額	繰越額
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費(⑤その他報償費)			12,770	11,305	0
	②					0
	③					0
	④					0
	⑤					0
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		11,305	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁 102,103
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		11,305	該当/頁
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		年度途中での増員1名分を予定していたが増員とならなかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、年度後半の活動日数が予定を下回ったため。				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	11,305	0	0	0	0	11,305
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		集落内の巡回や住民との対話など、地域課題の掘り起こしや対策の検討、定住などを行い、集落の維持・活性化対策を自治組織と連携して推進していくため、希望する13地区に集落支援員を配置した。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費 (⑤その他報償費) 11,304,800円 配置人数：13人 配置地区：河内、川地、青河、和田、神杉、川西、君田、布野、作木、吉舎、三良坂、三和、甲奴 活動内容：空き家の実態調査やその集約、定住希望者からの相談や空き家提供者とのマッチング 地域の人をつなぐ取組や地域内の話し合いの促進など					
	集落支援員活動の様子 		連絡会議 (研修会) 			
別添資料等		無				
(事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか		集落支援員の発想や取組により自治組織の活動が前向きに進む地域もあり、集落支援員の活動発表をもとにした三次市住民自治組織連合会の研修会を行うなど自治組織との協力による取組も進みつつある。 空き家バンクの相談件数も増加しており、定住コーディネーターと集落支援員が連携し対応した。(R1年度247件, R2年度326件, R3年度637件)。				

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部 地域振興課				
事業名			地域の未来づくりアドバイス事業	主要事業NO,			
事業区分	継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		2,600	2,596	0	4	100.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,596	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 102,103	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,596	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和3年度 特定財源 内訳	2,596	0	0	0	0	2,596	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	住民自治組織の現状から課題を把握し、持続可能なまちづくりを推進していくため、各住民自治組織（19地区）の人口分析及び人口推移シミュレーションを行い地域の状況の見える化を図った。また、平成30年度に調査を実施した6地区の振り返りと検証、令和2年度に調査実施した7地区でワークショップを開催した。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,596,000円 【委託先】一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 (所長：藤山浩) ○各自治組織 (19地区) ごとの人口分析及び人口シミュレーション ○平成30年度現地調査地区を対象 (6地区) 実施地区 (河内, 酒屋, 神杉, 作木, 吉舎, 甲奴) : 3年間の取組の振り返りと検証 ○令和2年度現地調査地区を対象 (7地区) 実施地区 (粟屋, 青河, 十日市, 和田, 川西, 布野, 三和) : 地域関係図作成ワークショップの開催						
	ワークショップの様子 						
別添資料等	無						
(事業一覧等)							
成果/評価	* 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか 少しずつではあるが各地区の課題解決に向け、新たな団体ができた地域や事業を始められるなどの動きがみられている。今後は一律という考え方から、地域の手上げ方式による地域づくりへのアドバイスを進めたい。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 地域振興課		
事業名			地域資源活用支援事業	主要事業NO,	
事業区分	継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		14,650	11,190	
	②			0	
	③			0	
	④			0	
	⑤			0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 11,190 決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 → 0 該当/頁 102,103		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 11,190 該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により, 事業実施が困難になり, 事業費が減額したため		
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和3年度 特定財源 内訳	11,190	0	0	3,924	7,266
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金				
	県支出金				
負担金等その他 協働のまちづくり事業助成金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域課題の解決や地域資源を活かし, まちづくりビジョンの実現や新たな地域資源を創造する住民の主体的な活動を推進するため, 16住民自治組織へ支援を行った。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 11,190,000円</p> <p>住民自治組織が掲げる, まちづくりビジョンの実現に向けた取組に対し支援を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>農業体験による世代間交流事業の実施</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域の環境整備の取組</p> </div> </div>				
別添資料等 有 (事業一覧等)					
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域課題の解決のために, 地域資源を活かし, 地域まちづくりビジョンの実現に向けて, 住民の主体的な活動を支援することで, 特色ある地域づくりを推進する住民の自主的な活動につながった。				

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業名			元気な地域創造施設整備支援事業	主要事業NO,		
事業区分		継続事業	第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (①委員等謝礼)		90	0	0	
	② 旅費 (②普通旅費)		5	0	0	
	③ 需用費 (③食糧費)		1	0	0	
	④ 負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独))		10,000	9,210	0	
	⑤				0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		9,210	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		9,210	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	9,210	0	0	0	0	9,210
	財源区分					補助金・負担金・交付金等の名称
	国庫支出金					
	県支出金					
負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域資源を活かしながら, 地域活性化, 産業活性化をめざす市民が, 関係者等と連携した主体的な取組を推進するため, 評価委員会において採択された2つの事業に対し支援を行った。					
事業実績	負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独)) 9,210,000円 (単位: 千円)					
	事業名	地区名	主な事業内容	事業費	補助額	
(詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	吉舎地域活性化事業	吉舎町	旧郵便局舎等改修	28,755	6,710	
	自社ワイナリー整備による 地域振興事業	四拾貫町	トイレ整備	18,733	2,500	
別添資料等 無 (事業一覧等)	旧吉舎町郵便局舎等改修 (社会福祉法人優輝福祉会)		自社ワイナリー屋外トイレ整備 (株式会社VinobleVineyard)			
	成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域資源を活かした, 元気な地域づくり, 新たなチャレンジ, ツナガリ人口の拡大などにつながる公益性の高い事業に取組む上で必要となる施設整備に対し支援を行うことで, 地域活性化, 産業活性化に寄与した。				



款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部 地域振興課				
事業名			自治振興活動費補助事業	主要事業NO,			
事業区分	継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑨交付金)		171,050	171,050	0	0	100.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		171,050	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁 102,103	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →		171,050	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和3年度 特定財源 内訳	171,050	0	0	0	0	171,050	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域住民自ら地域の課題に対応し, 生涯学習の推進と地域活動の実践を通して地域活性化を図り, 住民自治のまちづくりを進めていくため, 19地区の住民自治組織に支援を行った。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助金及び交付金 (⑨交付金) 171,050,000円						
	各住民自治組織において, 地域で掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた取組が推進するために, 「自治活動支援交付金」を交付しました。						
別添資料等 有 (事業一覧等)							
	ママカフェ (和田地区)			集会所カフェ (布野地区)			
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	各地域のまちづくりビジョンの実現に向けた取組を遂行するための支援により, 人口の社会増や自主的な活動など一定の成果を見ている。各住民自治組織で, ハイブリット会議やYouTubeを開設し, 講演会のライブ配信や家でできる体操などを行い, コロナ禍でもできることを考えながら活動された。 今後も各地域が掲げる「地域まちづくりビジョン」に基づき, 地域がめざす形を明確にし, 自治活動を促進させていくための支援を行うことが必要と考える。また, 市民からの意見や行政チェック市民会議の提言, 各住民自治組織へのヒアリングを参考に, 活動内容や交付金の使い方などの「見える化」を行う必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 地域振興課		
事業名			地域集会施設整備等事業	主要事業NO,	
事業区分	継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑥建設単独)		5,000	4,204	
	②				
	③				
	④				
	⑤				
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 4,204		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 → 0		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 4,204		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和3年度 特定財源 内訳	4,204	0	0	0	4,204
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金				
	県支出金				
負担金等その他					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域活動の拠点施設である集会施設の改修等を行うことにより, 安心・安全なコミュニティづくりを推進するため, 13施設に対し支援を行った。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>負担金, 補助金及び交付金 (⑥補助金 (建設単独)) 4,204千円</p> <p>・改修補助等 : 13件</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>堀越集会所 (吉舎地区) 改修前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>堀越集会所 (吉舎地区) 改修後</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>太歳町集会所 (三次地区) 改修前</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>太歳町集会所 (三次地区) 改修後</p>  </div> </div>				
別添資料等 有 (事業一覧等)					
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	改修等を行うことにより, 地域住民が安心して集まることのできる場所を提供することができた。また, 各地域の集会施設は地域避難所に指定されている施設もあり, 災害時の避難において, 避難者の安心・安全にもつながっている。引き続き, 地域活動の拠点施設として活用していただきたい。				


款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 地域振興課		
事業名			八次コミュニティセンター整備事業		
事業区分			第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
継続事業					
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 工事請負費 (①工事請負費)		285,974	285,723	
	② 委託料 (③施設機器等管理委託料)		127	126	
	③ 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		4,207	4,197	
	④ 備品購入費 (③その他備品購入費)		5,000	4,950	
	⑤				
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 294,996		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0"を挿入 → 765		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 295,761		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和3年度 特定財源 内訳	295,761	0	0	289,800	5,961
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金				
	県支出金				
負担金等その他					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	八次地区の分散している放課後児童クラブを既存の八次コミュニティセンターへ集約し, 子どもたちの安全と利用者の利便性の向上を図る。また, コミュニティセンターを災害時の浸水区域や土砂災害危険区域からも除外されている旧畠敷公園へ移転整備し, 八次地区のまちづくりや地域活性化並びに災害時の拠点施設として整備を行った。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費) 285,722,740円				
	委託料 (③施設機器等管理委託料) 126,016円, (④調査測量設計監理等委託料) 4,197,400円				
	備品購入費 (③その他備品購入費) 4,950,000円 (単位:円)				
	工事内容	工事請負費	委託料	備品購入費	請負事業者
	新築工事	77,407,440			(有)市山工務店
	機械設備工事	57,825,400			(有)谷中設備工業
	電気設備工事	47,639,900			三次電工(株)
	グラウンド造成工事	102,850,000			土井建材(有)
	自家用電気工作物保安管理業務		126,016		(一財)中国電気保安協会
新築工事監理業務		4,197,400		中電技術コンサルタント(株)	
備品購入 (会議用テーブル及びイス)			4,950,000	(有)文陽堂	
別添資料等 無 (事業一覧等)	  				
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	八次コミュニティセンターを移転整備することにより, 旧コミュニティセンターより広く, 設備も充実し, 利便性が向上した。また, 災害時の拠点施設としての役割も果たしている。これを機に地域活動が一層活発になり, 八次地区のまちづくり活動が発展していくことをめざす。				

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8					
事業名			みよし暮らし推進事業（移住者支援）	主要事業NO, —			
事業区分		継続事業	第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」				
節名称			予算現額	決算額			
			繰越額	不用額			
			執行率%				
事業 (経費) 内の主 な費目	①	07報償費（⑤その他報償費）	2,927	2,533	394	87.0%	
	②	08旅費（②普通旅費）	238	0	238	0.0%	
	③	12委託料（①業務委託料（物件費））	1,500	396	1,104	26.0%	
	④	18負担金，補助及び交付金（①負担金（補助費））	126	126	0	100.0%	
	⑤	18負担金，補助及び交付金（①補助金（補助費））	27,509	15,674	11,835	57.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		18,729	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			該当/頁 108,109	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		18,729	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		各支援事業の補助金申請件数が見込みを下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債		負担金等その他
	18,729		0	0	0	0	18,729
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
県支出金							
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「三次を選んでもらう，定住につなぐ，三次に住み続けてもらう」総合的な支援の実施により，三次市への移住・定住を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費（⑤その他報償費） 2,533千円 ・移住コーディネーター報償費 2,400,000円 ・ずっと住みたいまち本部員報償費（3回実施） 132,600円 旅費（②普通旅費） 0円 ※新型コロナウイルス感染症拡大により，不参加またはオンラインで参加。 委託料（①業務委託料（物件費）） 396千円 ・定住ポータルサイト運営サポート業務委託料 負担金（補助及び交付金，①負担金（補助費）） 126千円 ・ふるさと回帰支援センター負担金 50,000円 ・広島県交流・定住促進協議会負担金 76,000円 負担金（補助及び交付金，⑤補助金（補助費）） 15,674千円 ・移住者住宅取得支援事業補助金（2件） 2,000,000円 ・移住者住宅取得奨励金（24件） 3,600,000円 ・Uターン者実家等改修補助金（15件） 6,274,000円 ・空き家バンク改修補助金（6件） 3,300,000円 ・移住コーディネーター活動補助金 500,000円			 「すみまち本部」と修道大学の学生との 意見交換会の様子			
	別添資料等 有 (事業一覧等)	※事業についての説明は別紙			 ひろしまU・ターンフェア オンラインで参加		
成果/評価 * 事業を執行した ことにより，どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和3年度から移住コーディネーターを新たに設置し，移住相談希望者の相談に対して丁寧に対応することができた。 また，オンライン等で広島県主催の移住フェアや，三次市独自の移住フェア（イベント）を実施するなど，コロナ禍においてもみよし暮らしの情報発信等を実施することができた。SNSでは，三次市の日常の写真や季節の風景を紹介し，情報発信に努めた。 定住に関する補助事業については，154人の移住につながった。						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部定住対策・暮らし支援課		
事業名			地域おこし協力隊事業	主要事業NO, —	
事業区分		継続事業	第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」		
節名称			予算現額	決算額	繰越額
事業(経費)内の主な費目			① 07報償費(⑤その他報償費)	16,800	16,077
			② 12委託料(①業務委託料(物件費))	400	69
			③ 18負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費))	14,400	10,496
			④		0
			⑤		0
補正区分			6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) → 26,642
			9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0
			臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 → 26,642
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)		採用予定の隊員数が減及び、任期中途での退職により、活動補助金の支出が減少したため。			
歳入に関する項目	決算額(⑧)	特定財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和3年度特定財源内訳	26,642	0	0	0	0
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金等その他				
事業内容及びめざした目的(具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊委員が地域活動や農業などへ従事しながら、地域に溶け込み、最終的には地域の担い手として定着を図る。				
事業実績(詳細説明)事業一覧表/状況写真/図面等	<p>報償費(⑤その他報償費) 16,077千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域おこし協力隊報償費 16,077,475円(200千円/月×12か月×7人) 隊員1名中途退任による減額。 <p>委託料(①業務委託料(物件費)) 69千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おためし地域おこし協力隊事業委託料 69,000円 委嘱後地域や活動のミスマッチを防ぐために、事前に受入れ先等で活動体験等を行うための委託料 令和3年度は作木町(元気むらさきぎ)で実施。 <p>負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 10,496千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域おこし協力隊活動補助金 7人分 10,495,510円 協力隊の活動実績によるもの。 ※活動補助金上限 1,600千円/年 				
別添資料等	無				
(事業一覧等)					
成果/評価	<p>* 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか</p> <p>令和3年度に任期を終了した5人の隊員については、それぞれ任期終了後も三次市内に定着をしている。また5人のうち3人については、市の振興作物であるホウレンソウ・ブドウ・アスパラガスで新規就農にもつながった。</p>				



協力隊員の活動内容を市役所ほととニュース内で放送

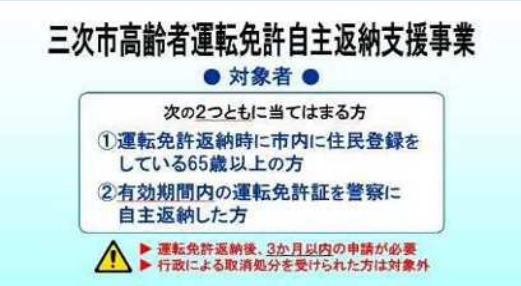
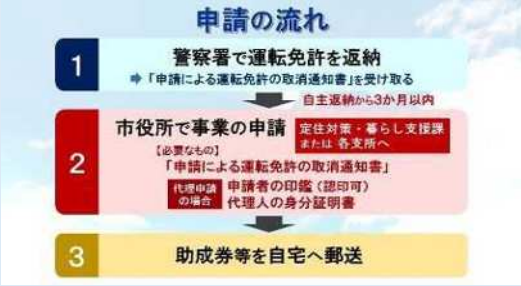
款	項	目	担当部局・課名		地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8						
事業名			ふるさと納税事業			主要事業NO,	—	
事業区分		継続事業		第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	11役務費, ①通信運搬費		585	495		90	85.0%
	②	11役務費, ④手数料		590	533		57	90.0%
	③	12委託料, ①業務委託料 (物件費)		31,423	31,423		0	100.0%
	④	12委託料, ③施設機器等管理委託料		396	396		0	100.0%
	⑤	13使用料及び賃借料, ⑨その他使用料及び賃借料		5,352	5,335		17	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		38,182	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		312	該当/頁 108,109		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		38,494	該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和3年度 特定財源 内訳	38,494	0	0	0	0	38,494		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市が進めるまちづくりに関する各事業に対して、全国から寄附を募集した。また、寄附のお礼として、三次市の特産品などを送ることにより、三次市の魅力の発信とともに、産品取扱い事業者や生産者の支援を行った。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	需用費 (④印刷製本費) 112千円 ・窓あき封筒, お礼状増刷 112,145円 役務費 (①通信運搬費) 495千円 ・カタログ, 受領証明書の発送 494,860円 役務費 (③広告料) 200千円 ・製品の魅力発信, 寄附額増加をめざしたデジタル広告 役務費 (④手数料) 533千円 ・ふるさと納税特産品発送業務委託料 ふるさとチョイス (GMO決済手数料) 484,252円 ANA (クレジット決済手数料) 48,653円 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 31,423千円 ・ふるさと納税特産品発送業務委託料 お礼産品代 22,215,537円, お礼産品送料 6,112,808円, 発送手数料 3,095,000円 委託料 (③施設機器等管理委託料) 396千円 ・ふるさと納税管理システム保守業務委託料 (33,000円/月×12ヵ月) 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 5,335千円			 お礼状				
	別添資料等 有 (事業一覧等)	・ふるさと納税申込フォーム利用料 ふるさとチョイス 1,883,585円, 楽天 3,226,896千円, ANA 224,488円			 広告イメージ			
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和3年度は8月豪雨による被害を受け、寄附金の使い道のひとつに「令和3年8月豪雨」の項目を臨時的に開設し、寄附を募った。(75件, 1,332千円) ※令和3年実績：5,235件, 76,267千円 (令和2年度：6,197件, 88,352千円)							

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8					
事業名		生活交通確保対策事業		主要事業NO, —			
事業区分	継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 12委託料 (①業務委託料 (物件費))		51,393	51,243		150	100.0%
	② 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))		14,942	14,340		602	96.0%
	③ 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		200,337	176,631		23,706	88.0%
	④ 19扶助費 (①扶助費)		3,000	1,526		1,474	51.0%
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		243,740	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁 108,109	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		243,740	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		・路線バス等運行補助金について、新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入の減及び費用の増による申請額の増額を見込んでいたが、見込みを下回ったため。 ・相乗りタクシーの利用が見込みより増えなかったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和3年度 特定財源 内訳	243,740	0	5,838	0	0	237,902	
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。						
	事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 51,243千円 ●市民バス運行業務委託料 51,242,505円 三次市民バス (君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町) の運行業務委託料					
		負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 14,340千円 ●三次市地域公共交通会議負担金 4,967,793円 (※自家用有償運送 (さくぎニコニコ便) の運行支援 1,909,062円を含む) ●三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 200,000円 ●三江線代替バス (式敷三次線) 運行負担金 9,172,662円					
		負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 176,631千円 ●生活交通維持対策補助金 ・路線バス (備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通) の運行維持に係る補助金 170,833,711円 ・ふれあいタクシーみらさか (三次広域商工会) の運行維持に係る補助金 5,797,668円					
扶助費 (①扶助費) 1,526千円 ●相乗りタクシー事業助成費 1,526,100千円 ・運行地区 22地区 申請者数 53人							
別添資料等	有						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	鉄道を含めた路線バスなどの広域幹線交通と、市街地循環バス、三次市民バス、ふれあいタクシーみらさかななどの地域内交通の組み合わせにより、通勤、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動を支えた。路線バスや三次市民バスについては、利用実態に即した効率的路線への再編を実施し、乗りやすいバスの運行を実施した。 また、公共交通網が不十分な地域への対策として、継続して三次市相乗りタクシーの事業や、地域のNPO法人が運行する自家用有償旅客運送への支援を実施して、公共交通空白地の解消を図った。						




自家用有償旅客運送「さくぎニコニコ便」

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部定住対策・暮らし支援課				
事業名			JR芸備線・福塩線利用促進事業	主要事業NO,	—		
事業区分		継続事業	第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 07報償費 (⑤その他報償費)		40	0		40	0.0%
	② 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))		522	522		0	100.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		522	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁 110,111	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		522	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	522			0	0	0	522
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
県支出金							
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	JR芸備線及び福塩線の沿線自治体等と連携し, その利用拡大と利用促進に向けた事業を行い, 路線の維持と沿線地域の活性化を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 522千円 ● 芸備線対策協議会負担金 301,000円 ・ 芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ● 福塩線対策協議会負担金 221,000円 ・ 福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金 【芸備線対策協議会・福塩線対策協議会の利用促進事業】 ・ 芸備線おもてなしイベント 各駅の駅前広場などを活用し, 地域の魅力を発信するイベントを実施 ・ 芸備線魅力発信 フォトジェニックオブジェ制作事業 (実施場所: 志和口駅) ・ JR線沿線情報誌製作事業 県内JR線の鉄道情報や沿線の観光スポット, イベント情報をまとめた情報誌を製作・配布 ・ 芸備線, 福塩線 駅カード事業 ・ 芸備線マルシェ事業 芸備線沿線の特産品を販売するマルシェを開催 (広島駅北口) ・ 福塩線ワイン列車の実施 沿線市町の特産品であるワインを活用した特別企画「ワイン列車」を実施 ・ 八田原イルミネーション 全長約6kmの八田原トンネル内にイルミネーションを設置 上下駅前広場にて駅舎のイルミネーション, プロジェクションマッピングを実施						
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 完全攻略ガイド 2021  芸備線おもてなしイベントの様子 (車両運転体験コーナー)					
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	ささまざまなイベントを通じて, 鉄道に興味を持っていただき, 芸備線や福塩線のみならず県内のJR線との連携により, 「繋ぐ」という視点に立ち, 県内全域のJR線及びその沿線の活性化を図ることができた。情報誌の製作事業は鉄道ファンの問い合わせが殺到し, 芸備線など周遊するシーンやSNSの投稿など情報発信や鉄道利用促進につながった。また, マルシェの実施により, 購入のために立ち寄ったお客様だけでなく, 沿線住民及び生産者等に芸備線沿線の特産品の価値の高さを実感してもらうことができ, 芸備線のブランド化につながった。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
事業名			高齢者運転免許自主返納支援事業	主要事業NO, —		
事業区分		継続事業	第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	
事業 (経費) 内の主 な費目	①	19扶助費 (①扶助費)	3,470	2,950	520	
	②				0	
	③				0	
	④				0	
	⑤				0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,950	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		90	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,040	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	3,040	0	0	0	0	3,040
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	扶助費 (①扶助費) 2,950千円 ● 高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 2,949,700円 ・申請件数 223件 運転免許を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付。 ①市民バス等無料利用者証 (2年度間有効) ②広島県交通系ICカードPASPY (1万円分・有効期限なし) ③市内タクシー利用助成券 (1万円分・3年度間有効) ※タクシー券は3年度間にわたって利用可能であり、利用年度における執行見込額で積算するため、支援金額×申請見込件数と予算額とは一致しない。					
	 					
別添資料等	無					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業は、三次警察署と連携し、高齢者が運転免許を自主的に返納するためのきっかけとする事業である。令和3年度は223件の免許返納の申請があり、高齢ドライバーの事故防止と公共交通の利用促進を図ることができた。					

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部 地域振興課	
2	1	8	事業名		三次地区拠点施設運営事業	主要事業NO,
事業区分		継続事業		第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」		
節名称				予算現額	決算額	繰越額
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報酬(④会計年度任用職員報酬)			3,431	3,345	0
	② 委託料(①業務委託料(物件費))			5,000	4,787	0
	③ 委託料(⑥指定管理料)			43,000	43,000	0
	④ 使用料及び賃借料(①土地借上料)			1,514	1,514	0
	⑤					0
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →		52,646	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		2,460	該当/頁 110,111
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		55,106	該当/頁 112,113
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	55,106	0	0	0	849	54,257
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金等その他	雑入(博物館グッズ売払収入等575千円), 使用料(自動販売機設置274千円)				
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本施設は湯本豪一氏から寄贈を受けた約5,000点の妖怪資料や三次市に伝わる「稲生物怪録」を中心に、子どもから大人まで楽しめる「チームラボ妖怪遊園地」も楽しめる、公立の博物館としては初めての妖怪をテーマとした博物館である。隣接する交流館と合わせ、伝統や文化の継承を行う中で地域の活性化を進めている。(2019年4月26日に開館)					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報酬(④会計年度任用職員報酬) 3,345,141円 ・学芸アドバイザー報酬, 学芸専門員報酬 委託料(①業務委託料(物件費)) 4,787,244円 ・文化財保存業務委託料及び看板設置業務委託料 委託料(⑥指定管理料) 43,000,000円 令和3年度からは指定管理者制度を導入し、学芸部分を除き「一般社団法人三次観光推進機構」による運営					
						
別添資料等	無					
(事業一覧等)	来場者 20万人達成セレモニー		夏休み子どもののけワークショップ			
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和3年度入館者数は31,291人で、令和3年10月22日には開館以来の来場者20万人を達成した。広報的には、ホームページやSNSの活用のほかインターネット機能を活用した「オンライン展覧会」による情報発信を行うとともに、ワークショップの開催やオンラインによる出前講座に取り組んだ。また、令和2年度に引き続き中国3県が誇る怪異の館「小泉八雲記念館」「水木しげる記念館」とタッグを組んだ「3館周遊バスポート事業」に取り組んだ。妖怪への関心の高さも感じられ、テレビ等の取材や新聞社(時事通信社)の原稿依頼があるなど、妖怪への関心度の向上が感じられた。					

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 地域振興課		
事業名			吉舎町拠点施設整備事業	主要事業NO,	
事業区分		継続事業	第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 役務費 (④手数料)		4	3	
	② 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		6,681	5,069	
	③ 工事請負費 (①工事請負費)		70,913	70,912	
	④ 補償, 補填及び賠償金 (①補償金)		253	253	
	⑤			0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 76,237		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 76,237		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		工事によって近隣家屋に被害が生じた場合に行う工損調査 (事後調査) が不要となったため。			
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和3年度 特定財源 内訳	76,237	0	0	74,800	1,437
	財源区分				
	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金				
県支出金					
負担金等その他					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和2年10月末に落成した吉舎町拠点施設に附属する駐車場及び広場を整備し、施設の全面供用を開始した。これにより施設の利便性を高め、市民の利活用を促進してまちづくりの推進を図る。				
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	役務費 (④手数料) 給水工事設計審査手数料 (散水栓) 3,500円 委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 吉舎生涯学習センター等解体工事及び吉舎交流拠点施設等駐車場及び広場整備工事監理業務 受託業者 大旗連合建築設計(株) 委託金額 5,068,800円 工事請負費 (①工事請負費) 吉舎生涯学習センター等解体工事 請負業者 土井建材(有) 請負金額 42,924,800円 吉舎交流拠点施設外構整備工事 (駐車場2,100㎡・71台、広場700㎡) 請負業者 (株)沖原建設 請負金額 27,987,300円 補償、補填及び賠償金 (①補償金) N T T 架線移転 252,836円		 <p style="text-align: center;">駐車場</p>  <p style="text-align: center;">広場</p>		
	別添資料等 無 (事業一覧等)				
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	十分な駐車台数を確保し、多目的に使える広場を整備したことで、拠点施設がより利用しやすくなり、住民自治組織等による様々な文化、学習活動や町内外の団体、企業の行事など、多彩な活動が行われている。 また、川魚の里公園など周辺施設との一体的な利用がよりしやすくなり、3年ぶりに開催された今年の吉舎ふれあい祭りは多くの来場者で賑わった。				